

第9回 柳原地区まちづくり協議会概要

議 題	第 9 回 柳原地区まちづくり協議会		
日 時	令和 8 年（2026 年） 7 月 30 日（木） 開催	場所等	千住あずま住区センター 4 階会議室
出席者	足立区 （事務局）	足立区 建築防災課（以下、「防災課」という。） 6 名 千住区民事務所 1 名 コンサルタント（㈱首都圏総合計画研究所（以下、「首都研」という。)) 3 名	
	参加者	協議会会員 11 名	
資 料	次第 資料 1 柳原地区まちづくり協議会名簿 資料 2 まちづくりの進捗状況 資料 3 部会活動について（意見交換） その他資料 まちづくりニュース第 6 号（案）について		
項番	議事・意見要約		
1	協議会下川会長 挨拶 熊本の地震について既に 30 名程の方が亡くなったと報道されている。10 年前の地震では亡くなった方の 8 割が災害関連死だったと言われており、今後災害関連死が増えることが心配される。 関東でも酷暑が続くので、身体には気を付けていただきたい。本日もよろしくお願いしたい。		
2	建築防災課臺課長 挨拶 皆様の協力の下、密集事業が徐々に進んでおり、昨年度道路拡幅に伴う土地売買契約を行い、6 月に道路整備をすることができた。 今年度はプチテラス用地に土地の売買の交渉等、具体的な交渉が複数進んでおり、みなさまからご意見をいただいて進めてきた柳原地区のまちづくりが形になってきたと思い、改めて御礼を申し上げたい。 また、ハード整備が進むのとあわせてソフト面の検討も重要であり、本日も有事に助け合う関係づくりのための取り組みについて意見交換ができればと思うので、よろしくお願いしたい。		
3-1	不燃化特区制度の紹介 区より、不燃化特区制度の紹介があり、全体で質疑応答を行った。		
3-2	【質疑応答（不燃化特区制度の紹介について）】 委員：所有者でないと申請できないのか。 防災課：解体助成は解体する方が申請する。所有者でない方は所有者の同意を取っていただく。 委員：借家で所有者と住んでいる人が違う場合が多いと思うが、どうなるのか。 防災課：住んでいる人に対しては、貸している人が対応することになる。この制度は、解体し		

	て工事費を出す方が申請するものである。 委員：借家の建物が古くて危ないが、壊すと住んでいる人の行き先が問題になる。 防災課：一時的な住居に申し込んで入居することはできるが、定住する賃貸住宅のケアはできない。解体などを強制するものではないので、民間には踏み込んでいないが、弁護士に相談することはできる。 防災課：土地又は建物を貸している所有者が建替えたい場合、借地借家法に沿って進めれば、建て替えが進まないことはない。危険な老朽家屋に認定された場合は所有者にアプローチする制度がある。 防災課：連絡いただければ相談を受けるので、ぜひご連絡いただければと思う。
4	・資料の確認 ・新規行政委員について：今年度から新規行政委員となった危機管理部防災戦略課避難所運営支援係長、千住区民事務所担当係長、都市建設部パークイノベーション課公園整備係長が紹介された。
5	令和8年度の協議会員について 区より、協議会役員の選任について説明があり、町会長の交代に伴う交代後の柳原西町会長と柳原東町会長が副会長に選出された。なお、交代前の柳原東町会長は委員を継続されることになった。
6-1	まちづくりの進捗状況（防災街区整備地区計画の届出状況、密集事業の進捗状況、柳原千草園の詳細設計、不燃化の状況などのまちの防災特性）について コンサルタントより、まちづくりの進捗状況（防災街区整備地区計画の届出状況、密集事業の進捗状況、柳原千草園の詳細設計、不燃化の状況などのまちの防災特性）について説明があり、全体で質疑応答を行った。
6-2	【質疑応答の内容（防災街区整備地区計画の届出状況について）】 （会員からの意見なし）
7-1	部会活動について コンサルタントより、部会活動について説明があり、全体で意見交換を行った。 なお、部会で取り組みたい活動のたたき台として、資料3で以下の案1～4を説明した。 案1 四町会合同の防災訓練を実施する会 案2 花見をしながら防災まちづくりを考える会 案3 街をきれいにしながら災害時の避難を考える会 案4 お祭りに参加して防災まちづくりを考える会
7-2	【意見交換の内容（部会で取り組みたい活動について）】 委員：隣近所がどのような人か、顔は見たことがあるが、名前を知らないことはよくある。交友に発展させるためにはトレーディングカードのようにイラストとQRコードが入ったカードをつくって交換し合い、住所や名前を知らなくてもLINEやメールでやりとりができたりする仕組みを作ってはどうか。 火の用心をやるのも、気軽に小グループでやるとみんな知り合いになれると思う。町会でやっている防災活動は30分から1時間程度だが、案1だと準備にも時間が掛かるので、忙しい人は参加できない。

首都研：自己紹介カードをつくってダイレクトに人とつながるという5番目の案ということでよい。

委員：案1がよい。避難訓練より避難所運営会議が必要に思う。町会ごとの避難訓練は大事だが、それを合同とするのではなく、避難所運営を円滑にできるように、避難所運営で起こり得ることのシミュレーションが必要に思う。

首都研：案6として、「避難所の運営を考える会」を追加する。

委員：防災訓練はいつも同じメンバーになってしまう課題がある。

委員：防災訓練は必須だと思うが、案6の避難所運営を4町会でどこまでできるのか、今後のテストケースになるかもしれない。人とのつながりの一助にどこまでなるかは分からない。

委員：人とのつながりの面では案1が良いと思う。避難所の運営と合わせて避難行動を行うことで人のつながりを生む。

委員：直近で熊本地震があったので案1の防災訓練の必要性が高まっているのではないかな。

委員：案2がよい。花見を行う道が防災のために作られたので、気軽に防災の問題に気づくきっかけになると思う。防災訓練のようなテーマでは、まず人の交流が生まれない。気軽な交流を生む花見から防災につながるのではないかな。

委員：日頃集まらない人を集めるとなると、案2などのように防災を前面に出さないものの方が良いと思う。また、町会の日頃の活動に資する活動が部会の内容になるとよい。なお、募集チラシ案について、親子のイラストが載っているので、中学生と保護者等、次に地域を担ってくれる人が参加できるイメージを与えられるとよい。

委員：案2がよい。花見は日程が難しいが、にぎやかで誰でも幅広い世代が気軽に集まれてよい。同じように夏には蛍を楽しむなど季節折々での展開が期待できる。

委員：20～30年前に商店街で花見のイベントを始めた。出店や流し踊りなどで盛り上がったがコロナが拡大して休止になった。人が集まるにはよいし、防災の面でも顔見知りが増えてよいのではないかな。

委員：イベントでは人は集まらないと思う。来ない人達から意見を聞かないといけないと思う。どうしたら人が来るのか、という点をもっと議論しないといけない。

首都研：部会でその点を検討してもらおうとよい。一通り意見を聞いてみたところ、案1と案2が多いがどうか。

委員：どの案にするということではなくて、人のつながりを作るという目的は一緒である。イベントをやっても知っている人がいなければ、通り抜けて終わりにになってしまう。

首都研：人が来るものにすることという点を大事にしたい。ここまでを整理すると、案5と案6を加えてみなさんの意見を聞いたところ、案2が僅差だが多かったので直近の部会の取組とし、その他は次の部会の取組の案とすることでよいかな。

(会場了承)

【意見の結果】

案1 四町会合同の防災訓練を実施する会 : 3名

案2 花見をしながら防災まちづくりを考える会 : 4名

案3 街をきれいにしながら災害時の避難を考える会 : 0名

	案4 お祭りに参加して防災まちづくりを考える会 : 0名 案5 配布カードをつくる会 : 1名 案6 避難所運営を考える会 : 1名 (ホワイトボードでは0名としていた。) 特になし : 2名
7-3	【意見交換の内容（募集チラシの内容や、参加の呼びかけ方について）】 委員：花見の取組なので、募集チラシは案1がよい。 首都研：どちらが良いと思うか挙手していただきたい。 (案1の挙手が多数) 防災課：案1を基調としながら、写真の上の文字の見にくい点等を修正してみる。 委員：チラシは掲示板に出すのか、折込で配布するのか。小さい字では誰も見ない。「これをする、具体にはこういうことなので、集まってください」くらいの表現が良いと思う。 防災課：文字を少なく大きくして、メリハリをつける。 委員：タイトルは「花見しませんか」がよいのではないかな。 首都研：修正して、みなさんに確認する方法も検討する。次に、周知方法について、アンケートでも聞いたが、新しいアイデアはあるか。 (特に意見無し) 首都研：参加や呼びかけについて、アンケートでもアイデアをうかがったが、新しいアイデアはあるか。 委員：消防団には声をかけなくてよい。 首都研：協議会委員でもいらっしゃるので、この場で情報は共有していく。次に、部会員の呼び名をどうするとよいかな。 委員：ワーキンググループとか、タスクフォース等、横文字の方が若い人には伝わるのではないかな。 首都研：ご意見を踏まえて修正してみる。 委員：取組について、四季折々という話も出ていたが、チラシは春バージョンということではないかな。 防災課：最初の取組としてはそうである。 委員：秋はお祭りがあるので難しいのではないかなと思う。 首都研：(今年度のスケジュール(案)について説明) (特に意見無し)
8-1	柳原地区まちづくりニュース第6号(案)について コンサルタントより、柳原地区まちづくりニュース第6号(案)について説明があり、全体で質疑応答を行った。

8-2	【質疑応答の内容（柳原地区まちづくりニュース第6号（案）について）】 委員：ニュースを見た方からの反応はあるか。 防災課：多くはないが、柳原千草園についての問合せがあった。 委員：部会員になりたいという方の連絡はないか。 防災課：大きく出していないので、まだ連絡はない。 首都研：チラシの配布の時期を勘案して、ニュースでの募集記事の内容を検討する。
9	事務連絡 ・ 次回の協議会は、11月頃の開催を予定している。よろしく願いたい。

（参考 「部会活動について」時に使用したホワイトボードへの書き出し内容）

① 部会で取り組みたい活動はありますか？

案1 四町会合同の防災訓練を実施する会
・ 防災の前線に出て
・ 必要！

案2 花見をしながら防災まちづくりを考える会
・ 防災の道で行う
・ 与電にゆるゆる（防災道）
・ 会話のきっかけ → 参加しやすい！
・ 次につながる
・ 予想外の人とつながる可能性あり
・ 天気で難しいかもだが参加しやすい
・ 夏は木陰にメリ？とかは関係ない
・ 夏は涼しくしてさることから始めよう
・ 以前やった時のことを活かそう

案3 街をきれいにしながら災害時の避難を考える会

案4 お祭りに参加して防災まちづくりを考える会

案5 自己紹介カードをつくる会
・ ケンカ的に交換したり
・ 発展させる余地あり

案6 避難所運営を考える会
・ 4町会で行うテストケースになる
・ 人とのつながりにつながるか？
・ 一緒に行動するとか大事
・ そこまで避難すること考えよう

案7 日頃の町会の課題解決につながることも大事
（参加者のためとか）

案8 中学生と親の参加しやすいもの

案9 花見をしながら防災まちづくりを考える会

案10 防災の道で行う

案11 与電にゆるゆる（防災道）

案12 会話のきっかけ → 参加しやすい！

案13 次につながる

案14 予想外の人とつながる可能性あり

案15 天気で難しいかもだが参加しやすい

案16 夏は涼しくしてさることから始めよう

案17 以前やった時のことを活かそう

案18 街をきれいにしながら災害時の避難を考える会

案19 お祭りに参加して防災まちづくりを考える会

案20 自己紹介カードをつくる会

案21 ケンカ的に交換したり

案22 発展させる余地あり

案23 避難所運営を考える会

案24 4町会で行うテストケースになる

案25 人とのつながりにつながるか？

案26 一緒に行動するとか大事

案27 そこまで避難すること考えよう

② 募集チラシの内容や参加の呼びかけ方

ア. 募集チラシは案1・案2のどちらがよいでしょうか？

イ. 「部会員」より参加しやすい呼び名案を出してみよう

ウ. チラシの修正点について、他にご意見はありますか？

エ. 特定の団体に参加や協力の呼びかけをしますか？

オ. 募集チラシの周知方法は、どのような方法がありますか？

見にくいのは書いて、写真をつけよう

小さい字は×

花見はせいか？

ばって見てわかる

まずは春推し！

WGとか横文字！

TF

「柳原」で災害時に助け合い人とのつながりを出していくまちづくりを進めていくために部会員を募集します！

「柳原」で災害時に助け合い人とのつながりを出していくまちづくりを進めていくために部会員を募集します！